

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・写真 GT
山行NO. 1894	
日時 2020年12月04日(金)晴	
山域 秩父・武甲山(日本二百名山・1304m)	
コース 生川駐車場発 8:18 一妻坂峠 9:06 一大持山 10:16 一小持山 10:58 一武甲山コル(シラジクボ) 11:33 一武甲山 12:08~12:54 一林道終点 13:55 一駐車場 14:20	
累計標高差 上り 生川駐車場約 518m~大持山 1294m=約 776m シラジクボ約 1070m~武甲山 1304m=約 234m 計=1010m 下り 小持山 1273m~シラジクボ 1070m=約 203m 武甲山 1304m~生川駐車場約 518m=約 786m 計=989m	
快適度 藪漕ぎはない	
難易度 非常に困難 困難 やや困難 レ普通 やや易しい 易しい	
<b>武甲山の南面は別の顔があった</b>	
参加者 後藤、合谷=2名	

ガラガラガラ・ガラガラガラ、武甲山は早朝から石灰岩採掘の音が響いていた。2017年~19年まで三年間、秩父三十四観音巡礼を行った。その時、武甲山はいつも秩父の街を睥睨していた。秩父盆地から、武甲山は常に「偉大な巨人」だった。

武甲山は「自然破壊」で名をはせた山。セメントの材料の石灰岩採掘は、明治時代始まったという。山の北側は、大きくえぐられおよそ「山」とは呼べない山容に変貌した。



2017/11/21

そんな武甲山だが歴史は古く、

・・・日本武尊が、自らの甲(かぶと)をこの山の岩室に奉納したという伝説が元禄時代の頃から定着した・・・ネット

頂上も本来は、1346mだったが、頂上すら破壊され、現在の標高は、三角点が1295m、頂上表記は、1304mである。しかし、民間の企業で頂上を破壊することが出来るのだろうか??

そもそも、武甲山の持ち主は、一体、誰・何処のものか。

朝、車は氷でガジガジだった。秩父は盆地で標高約300m。晴天時は放射冷却がキツイ。駐車場から妻坂峠に向けて出発。駐車場には多くの登山者がいたが、峠経由は他にいなかった。峠まで標高差約338m＝約1時間。

路は古の雰囲気を残したもので、実に感じが良かった。高度が上がり峠が近づくと、風がゴーゴ一騒ぎだった。峠はどうやら、風の通り道ようだ。すぐ上っ張りを着込んだ。峠から大持山（1294m）に向かう。



牙が見える狛犬（狼）

急登を過ぎると、イイ感じの自然林が延々と続いた。路もイヤに幅広く、昔は牛馬が通ったのだろうか？

大持山着。樹木が多く展望はスッキリしない。ただ、この後、すれ違った地元の方の話では、「富士山が見える」だったが、展望場所は気が付かなかった。



妻坂峠



美しい自然林

大持山から小持山は、小さなアップダウンが続いた。難しくない岩場があった。反対側の武甲山方面から何人かやって来た。

いつも思うが、周遊登山の場合、右・左周りは、どのように決めるのが興味がある。今回の場合は、我々のコースはゼロ。反対の武甲山からは、10名以上いた。愛鷹連峰・越前岳なども、割石峠を上る時計回り、割石沢を下る反時計回りがある。私の考えは、最後にそのコースの最高峰を上って下る、というのがポリシーだが、皆さんの思いは不明。

先で前述のオバさんに会った。地元の方で訓練で毎週上るといふ。静岡の山にも興味津々。名刺

を渡した。

小持山に着くと、今朝、駐車場で見たレグサスのオジさんが上って来た。この方も、我々とは逆コースだった。小持山から、穏やかな路を経て、最低コルの「シラジクボ」着。コルから標高差約200mの上りで、武甲山に向う。

峠から上りは南面で陽光が注ぎ暑かった。アンダーシャツ一枚で良かった。南面は、よく見る里山の感じで、北面の荒々しさはなかった。石灰岩採掘以前は、北面もそうであったであろう。



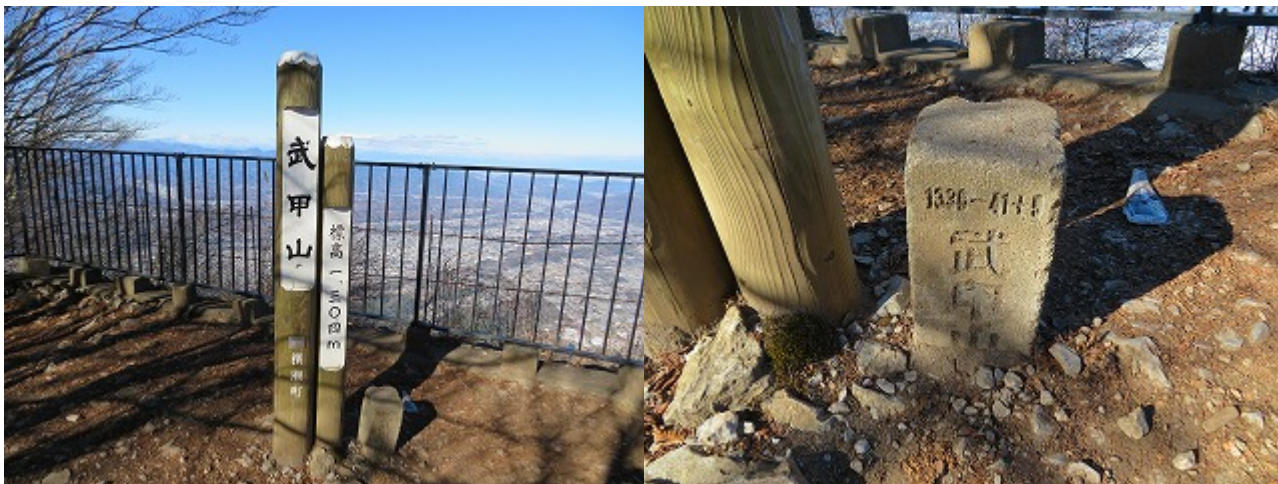
シラジクボ（峠）

上りきると表参道分岐。何処かのオバさんが居て、「頂上はスグ」と教えてくれた。頂上南には、立派な「御嶽神社」があった。神社は以前、本来の頂上付近にあったという。しかし、頂上が消滅と同時に、現在の場所に移動したという。頂上の展望台に歩を進める。

頂上とされる1403mの北面は素晴らしい展望だった。秩父盆地を一望し、左手奥に特徴的な浅間山があった。正面には、上越の山々が眺められるはずだが、モヤでハッキリしなかった。

実は頂上東は、まだ高い場所があった。恐らくこの付近が、旧頂上で、かつては1336mの高さがあったのではないかと・・・。

・・・1900年（明治33年）の測量では標高は1,336メートルを記録したが、山頂付近も採掘が進められたために三角点が移転させられ、1977年（昭和52年）には標高1,295メートルとされた。元の頂付近は1980年9月頃に採掘のために爆破されている[2]。2002年（平成14年）に改めて



三角点周辺を調査したところ、三角点より西へ約 25m 離れた地点で標高 1,304m が得られ、国土地理院はこれを武甲山の最高地点と改めた（国土地理院の発表日時：2002 年 11 月 8 日（金）14 時 00 分）。そして、

地図上では 1,295m の三角点と最高地点 1,304m の両方を表示することとした・・・ネット



頂上



武甲山南面

林道終点

何処かの方に写真を撮って貰い神社で昼食。無風で暖かい日差しが注いでいた。下山は、表参道を下る。参道は東面でスギの人工林が続き日差しが全く入らない。寒くて陰鬱な登山道だった。これで表参道??

しかも登山者が多くて路はゴロタ石が続き、歩き難いことこのうえない。丁石が 50 本あって、カウントダウンしていく。

予定より早く駐車場着。丁度、上で会った地元のオバさんが下って来た。彼女は妻坂峠から、我々とは反対の武川岳（1052m）に上って来たといった。

武甲山は、大きな山ではなかったが、南面は違う顔を持った自然豊かな山だった。石灰岩は、あと 100 年で枯渇するというが、南面の自然は残しておくべきである。

